

令和6年10月11日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

第17回 港湾空港技術講演会 in 関東2024を開催します

国土交通省関東地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所の共催により「港湾空港技術講演会 in 関東 2024」を下記のとおり開催します。

本講演会は、港湾・空港分野に関する最新の研究・技術開発の取り組み状況をわかりやすくご紹介することを目的としており、今回で17回目の開催となります。

今回は、「海洋・航空分野の技術力向上に向けて」をテーマに、エンジニアリングモデルを用いた浮体式洋上風力発電の海洋施工に関する研究、GBASによる精密進入方式と利点について、港湾工事におけるCO2削減方策、港湾における気候変動の影響評価について、東京湾シミュレータ、能登半島地震における係留施設の被害・利用可否判断と今後の対応に関する調査研究などについて講演を予定しております。

■日時：令和6年11月11日（月） 14：15～17：40 （受付開始13：30）

■会場：横浜第二合同庁舎 1階 共用第1会議室
（横浜市中区北仲通5丁目57番地）

■内容・申込方法：別紙リーフレットのとおり
〈※港空研 HP 講演プログラム、参加申込 URL〉

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

電話：045-211-7420 メールアドレス：pa.ktr-kaikanka2@mlit.go.jp

課長 遠藤（えんどう）（内線：5740）

課長補佐 佐々木（ささき）（内線：5741）

係長 五月女（さおとめ）（内線：5749）

第17回 港湾空港技術講演会 in 関東2024

○日時： 令和6年11月11日(月) 14:15～17:40

○会場： 横浜第2合同庁舎 1階会議室

○定員： 会場100名(先着順、定員に達し次第締め切らせて頂きます。)

別紙

国土交通省 国土技術政策総合研究所
共催： 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
国土交通省 関東地方整備局

参加
無料

○講演内容

テーマ『海洋・航空分野の技術力向上に向けて』

14:15～	開会の挨拶	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 所長	河合 弘泰
		関東地方整備局 副局長	衛藤 謙介
14:25～	『エンジニアリングモデルを用いた浮体式洋上風力発電の海洋施工に関する研究』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 海洋先端技術系 再生エネルギー研究グループ 上席研究員	蓮見 知弘
14:50～	『GBASによる精密進入方式と利点について』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 航法システム領域 主幹研究員	齊藤 真二
15:15～	『港湾工事におけるCO2削減方策』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造新技術研究グループ 研究官	中村 董
15:40～	『港湾における気候変動の影響評価について』	国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室 主任研究官	千田 優
16:05～	質疑		
16:20～	休憩		
16:30～	『東京湾シミュレータ』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋環境制御システム研究領域 海洋汚染防除研究グループ 研究官	松本 大輝
16:55～	『能登半島地震における係留施設の被害・利用可否判断と今後の対応』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域長	小濱 英司
17:25～	質疑		
17:35～	閉会の挨拶	国土技術政策総合研究所 副所長	宮島 正悟

※内容は一部変更する場合があります

◇お申し込み方法

参加を希望される方は、港空研(HP)(◆講演プログラム、参加申込)から、必要事項を記入してお申し込みください。本公演はCPDプログラムに参加しております。

- ・申し込み締切:11月6日(水) ※定員に達し次第終了させていただきます。
- ・申込先URL :

<https://www.pari.go.jp/event/seminar/seminar-info/chiiki-kouen-2024/2024kanto/index.html>

◇お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
TEL 045-211-7420



土木学会 CPDプログラム
認定番号 JSCE-(O.O)単位

CPDプログラム申請中につき、
後日申込先に単位を掲載します。



横浜市中区北仲通5-57
横浜第2合同庁舎